



青南だより

令和3年12月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<連携ができたからこそその育ち>

作品展や親子フェスタでは、日々繰り返してきている活動の中で種をまき、行事につなげていく工夫をしたことで、どの子どもも自分のペースで階段を登っていくことができました。また行事の日を節目に、朝の挨拶がぐっと元気になったり当番活動を進んでしたりなど、大きな変化が見られた子が何人もいました。子どもたちの伸びる力を信じて、焦らずに幼稚園と家庭とが同じ思いで一緒に待ったり言葉掛けをしたりする関わりが効を奏したのだと思います。本当にありがとうございました。

<ホームページを通じての発信>

今年度、ホームページには新しいコーナーをいくつか作りました。その一つ、自然に関わる様子を伝えているのが「自然っておもしろい！子どもっておもしろい！」です。各担任が園内研究と連携して、自然に関わる子どもたちの姿から「これは！」という姿を紹介しています。また、幼稚園は保護者の皆さんがPTA活動などを通じて子育てを支え合う仲間をつくる大切な場でもあります。大人も子育てについてのヒントが得られるようにと「子育て一緒に楽しもう」も新設しました。ブログや小さなコラムも合わせて、ご覧いただければと思います。

<実りの秋から冬へ>

今年、幼稚園の裏庭の柿は、何と245個も収穫できました。年長児はこれまで何度も収穫物を数えてきた経験を生かして、今回は写真のように10個ずつ並べる方法を考えました。形のいい甘柿をみんなで味わい、一人一つずつ持ち帰りました。また表参道駅や小学校や近隣の方々にお裾分けすることもできました。昨年の収穫後、子どもたちと一緒にお礼肥を施したり、冬の剪定も行ったりした手入れの成果としてもうれしいことです。また、昨年その柿の木の横で始めた土工場の活動は、今年の子どもたちの栽培活動や遊びの中に生かされています。

・・・師走(しわす)・・・

大雪(7日)・・・園庭のかえでも色付き始めるでしょう・・・

冬至(22日)・・・空気が澄んで遠景がよく見えます・・・

シンボルツリーのカエデの木は、上の方から少しずつ色付き始め、サクラはほとんど葉が落ちています。畑やプランターの後片付けも子どもたちと一緒にに行いました。土をふるいにかける作業を「土工場！」と呼んで、ビールケースの上にカゴを乗せてふるいにかける動きやそこでのいろいろな発見も楽しんでいます。チューリップの球根や花の苗を植え、種まきもして、次なる自然環境作りも進めています。

青南の 二十四節気



親子の関わりも楽しめた年少組の親子フェスタ



宇宙のイメージで走ったり跳ったりした年中児



年長児のダンスやリレーはやっぱりかっこいい！



ずっと様子を見守ってきた裏庭の柿の木



去年よりもたくさん、何と245個も採れました！